

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月06日

計画の名称	稲美町における住環境の向上（第2期計画）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	稲美町													
計画の目標	町内全域の町道のうち建築行為が行われる敷地に接する建築基準法第42条第2項道路に指定されている町道（以下「狭あい道路」という）を対象として、建築確認申請提出後に後退道路用地の確保及び道路の拡幅工事を行い、良好な生活環境の形状及び都市機能の向上を図ることで、安全で安心できるまちづくりを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		23	A	23	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	稲美町における狭あい道路の拡幅整備の割合 稲美町における狭あい道路の拡幅整備の割合 (稲美町における狭あい道路の拡幅整備割合) = (拡幅整備実績延長) / (「稲美町狭あい道路拡幅整備促進計画」延長)	H28当初	-	H32末
		88%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H28	H29	H30	H31	R02						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	稲美町	直接	稲美町	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備(町内全域)	稲美町						23		策定済			
												小計						23				
												合計						23				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
稲美町において、目標の達成状況やその要因を確認し事後評価を実施。	令和3年8月
	公表の方法
	稲美町ホームページに公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	狭あい道路の拡幅工事が進捗する中で、車と歩行者がスムーズにすれ違うことができるようになった路線が増え、安全性が高まった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
最終の目標を達成しているものの、事業対象となる幅員4m未満の町道は、町内全域にあり更に整備を進める必要がある。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	稲美町における狭あい道路の拡幅整備の割合	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	146%

事業への取り組み希望も多く順調に事業が進んだ結果、目標を上回る事業実績となった。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	稲美町における住環境の向上 (第2期計画)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	稲美町

事業対象

町内全域の町道のうち、建築基準法第42条第2項道路

位置図

凡例



市町界